

作成：令和元年 10 月 18 日

整理番号 06161

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

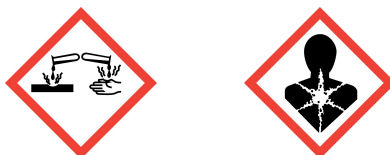
製品名（化学名、商品名等）	<b>Benzoic Acid</b>	安息香酸		
販売者情報	会社	LECO ジャパン合同会社		
	住所	〒105-0014 東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号 住友不動産芝ビル 4 号館		
	担当	SDS 担当者		
	電話番号	(03) 6891-5800	FAX 番号	(03) 6891-5801
製造者情報	会社	LECO Corporation		
	住所	3000 Lakeview St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.		

### 2. 危険有害性の要約

分類の名称	: GHS 分類
物理化学的危険性	: 分類基準に該当しない
健康に対する有害性	: 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分 1 生殖毒性 区分 2 特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分 2(上気道)
環境に対する有害性	: 水生環境有害性(急性) 区分 3

ラベル要素

絵表示:



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 重篤な眼の損傷を引き起こす。生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。  
長期にわたる、又は反復暴露による臓器(上部気道)の障害のおそれ。  
水生生物に有害

## 注意書き

安全対策： 使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。環境への放出を避けること。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置： 眼に入った場合：水で分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

保管： 施錠して保管すること。

廃棄： 内容物/容器を地域/地方/国/国際規則に従って廃棄すること

GHS 分類に該当しない他の危険性： 知見なし

## 重要な兆候及び想定される非常事態の概要

重要な兆候：重度の眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがある。失明等の永久的な眼の損傷がおこる可能性がある。長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。

想定される非常事態の概要：重篤な眼の損傷を引き起こす。長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。生殖に対する危険有害性の可能性。水路に排出されると環境に対して危険である。

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	：	化学物質	
化学名	：	安息香酸	
成分および含有量(wt%)	：	95-100	
化学式又は構造式	：	C7H6O2	
官報公示整理番号	化審法	：	(3)-1397
	安衛法	：	非通知対象物質
	PRTR 法	：	対象外
C A S No.	：	65-85-0	
国連分類及び国連番号	：	—	

## 4. 応急措置

吸入した場合	：	空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する
皮膚に付いた場合	：	石けんと水で洗い流す。刺激が強くなったり続く場合には医師の手当てを受ける
目に入った場合	：	直ちに多量の流水で最低 15 分間目を洗浄する。コンタクトレンズを

して、容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。ただちに医師の手当てを受ける。

誤飲した場合 : 口をすすぐこと。症状が現れたら医師の手当てを受ける。

## 5.火災時の措置

消火剤	水の噴霧、泡消火剤、粉末、ドライケミカル、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。
火災時の特有の危険有害性	火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。
特有の消火方法	未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。
消火を行う者の保護	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用する。
一般的な火災の危険性	異常な火災や爆発の危険性は知られていない。
特有の消火方法	通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する

## 6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである
封じ込め及び浄化の方法及び機材	この製品は水に混和性である。製品を排水施設に流してはならない。大量の漏出の場合、リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断し、漏出物をせき止める。バーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。少量の漏出の場合、吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。全ての環境流出に該当する管理または監視要員に通知すること。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。下水や水路、地面に排出しない

## 7.取扱い及び保管上の注意

技術的な対策	適切な排気を行う。
安全取扱い注意事項	使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解

適切な衛生対策	するまで取り扱わないこと。目に接触させない。妊娠中または授乳中の女性はこの製品を取り扱うべきではない。もし可能であれば、閉鎖系で取り扱うこと。環境への放出を避けること。産業衛生に気を配る。
安全な保管条件	あらゆる医学的監視要件を遵守すること。本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。施錠して保管すること。容器を密閉しておくこと。

## 8. 暴露防止措置

許容濃度（暴露限界値）	暴露限界値は設定されていない。
設備対策	適切な換気（換気回数 1 時間に 10 回程度）を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。洗眼設備を設置する。
保護具	
眼/顔の保護	サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。
手の保護	適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。
皮膚及び身体の保護	適切な保護衣を着用する。不浸透性エプロンの使用が望ましい。
呼吸器の保護	換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

## 9. 物理/化学的性質

外観	
物質の状態	: 固体
形状	: タブレット
色	: 白色
臭い	: 特徴的
沸点	: 249.2 °C
融点	: 122.4 °C
引火点	: 入手不可
燃焼性	: 入手不可
蒸気圧 (mm)	: 0.001hPa @ 20 °C
蒸気密度	: 入手不可
溶解度	: 水溶性 3.5g/L @ 25 °C
比重	: 1.32 @ 20 °C
pH	: 飽和水溶液にした場合 2.8

n-オクタノール/水分配係数：1.87

自然発火温度：入手不可

分解温度：入手不可

粘度：入手不可

その他の情報

爆発特性：爆発物ではない

酸化能力：酸化性はない

表面張力：67.5 mN/m @ 20 °C (1 g/L)

## 10.危険性情報（安定性及び反応性）

反応性：本製品は通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。

安定性：通常の条件下で安定。

有害な反応の可能性：一般的な条件下では危険な反応は知られていない。

避けるべき条件：混触危険性物質との接触。

混触危険性：強酸、強塩基類、還元剤、金属類、強酸化剤。

有害分解生生物：炭素酸化物、ベンゼン、フェノール。

## 11.有害性情報

起こりうる暴露についての情報

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 長時間の皮膚接触により一時的な刺激を起こすことがある

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 重篤な眼の損傷を引き起こす。

呼吸器又は皮膚感作性 呼吸器感作、皮膚感作を引き起こすとは考えられていない。

生殖細胞変異原性 本製品あるいは製品中に 0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。

生殖毒性 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。

特定標的臓器毒性（単回暴露） 該当しない

特定標的臓器毒性（反復暴露） 長期にわたる、又は反復暴露による臓器（上部気道）の障害のおそれ。

吸引性呼吸器有害性 吸引性呼吸器有害性でない。

## 12.環境影響情報

生態毒性 製品		水生生物に有害。 種	結果
安息香酸(CAS 65-85-0) 水生 Fish	LC50	カダヤシ	180 mg/l, 96 時間
残留性/分解性		知られていない。	
生態蓄積性		生体内蓄積の可能性	
土壌中の移動性		この製品は水に混和性である。	
オゾン層への有害性		入手不可	
その他の有害影響		この製品による環境への悪影響（例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は考えられていない。	

## 13.廃棄上の注意

残余廃棄物/未使用製品	現地の規定に従い処分する。空の容器または内張には製品残渣が残っているおそれがある。この物質およびその容器は、安全な方法で廃棄しなければならない。
汚染容器	製品の残余物が残っているかもしれないので容器が空になった後もラベルの警告に従う。空容器はリサイクルまたは廃棄のために承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない

## 14.輸送上の注意

DOT	指定されていない
IATA	指定されていない
IMDG	指定されていない

## 15.適用法令

該当なし

## 16.その他の情報

参考文献	本製品の英文 SDS(081016) : LECO Corporation JIS Z7253 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、
------	--

作業場内の表示および安全データシート

化学便覧 : 丸善

職場のあんぜんサイト : 厚生労働省

NITE 化学物質総合情報提供システム : 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

作成 : 令和元年 10 月 18 日

- \* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。  
尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。